

産後1ヶ月から1年までの 母親への育児支援の効果

—大学の特徴を活かした子育て支援サロンの実践—

助産研究科 今崎裕子 平山恵美子
看護栄養学部 荃津智子 山部秀子



目的

母親の育児や生活への適応状態を把握すること、育児困難の早期発見と母親への効果的支援方法を検討すること。

実践内容

産後1ヶ月以降、1年までの母子を対象に、2009年11月、2010年3月、2010年10月、2011年3月の4回、「子育て支援サロン」（名称「アンジェ」）を開催。





サロンの目的

母親の心身のリラックス

サロンの内容

「アロマハンドマッサージ」
「簡単料理の紹介」「絵本の読み聞かせ」
「親子で楽しめる遊び」「ハーブティーを
用意した茶話会」

母親がサロン参加の間、子どもは、
教員と学生が託児を行った。







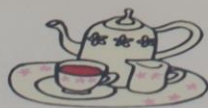
ゆり



本日のハーブティー

ほんわか 心和み茶

- * カモミール
- * エルダー
- * エキナセア
- * リンデン
- * ネットル



本日のハーブティー

ゆったり

素敵なひと時茶

- * ローズ
- * ラベンダー
- * ネットル
- * リンデン
- * エルダー
- * マロウ
- * ジャスミン









100% KANSUI KANSHI KANSUI ETO

十割米炊飯

和食の健康と食文化

和食の健康と食文化


和食の健康と食文化

和食の健康と食文化










今後の子育て支援活動の参考とするため、サロン終了後に参加動機、感想と今後の要望に関する無記名自記式アンケートを実施。

倫理的配慮

参加者にアンケートの目的を説明、学会等での発表や調査以外での使用はしないこと、匿名性と拒否権の保証をし、アンケートの回収をもって調査への同意とした。



アンケート結果

3回の「子育て支援サロン」に参加した
母子は大学の近隣在住の33組。

リピーター2組 上の子どもの参加1名。

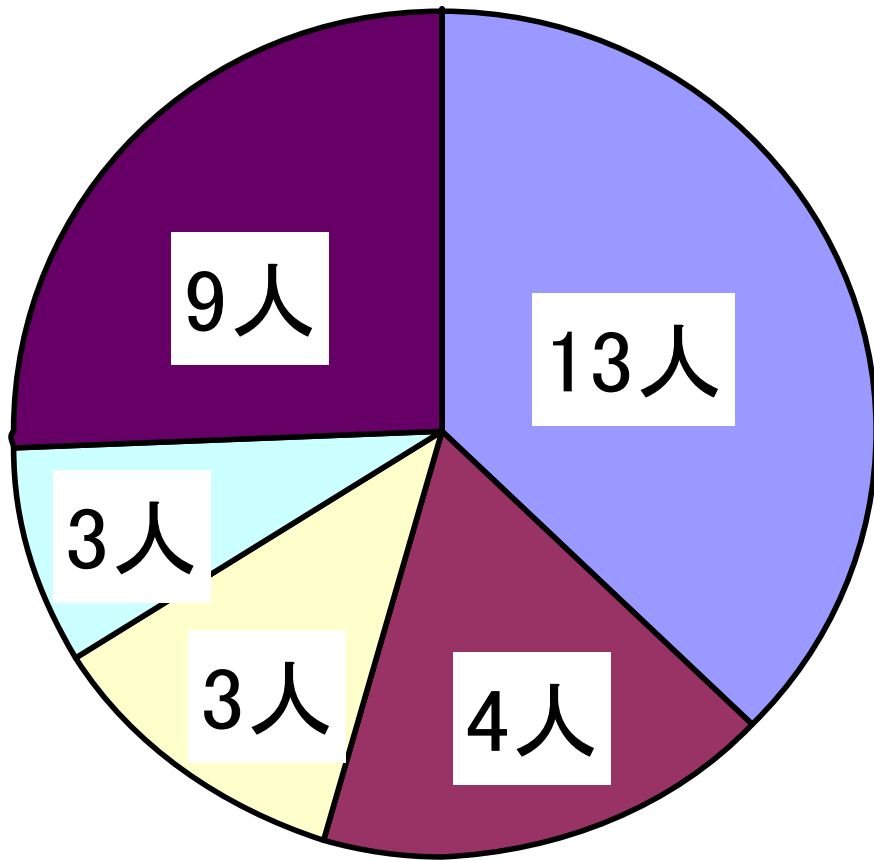
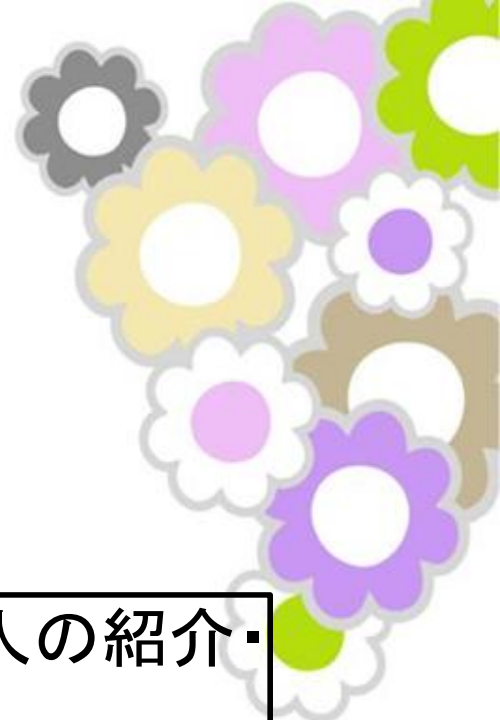
参加者全員から「満足した」との回答を得た。



参加した母子の児の月齢

N=33

月齢	1回目 (人)	2回目 (人)	3回目 (人)
1ヶ月	0	0	1
2ヶ月	1	0	4
3ヶ月	3	0	0
4ヶ月	5	4	3
5ヶ月	5	0	1
8ヶ月	2	1	0
9ヶ月	0	1	0
1歳	0	0	2



- 友人・知人の紹介・誘い
- 興味があった
- 息抜き・気分転換
- 育児のことを聞きたい
- その他

参加動機

* 複数回答



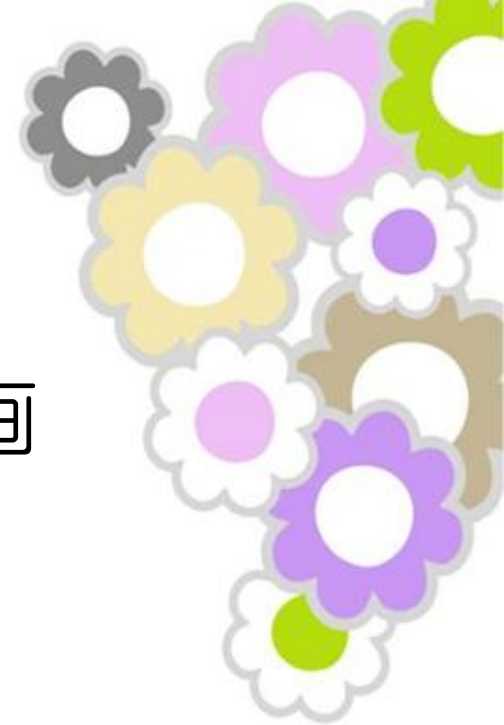
全体の感想

- ❁ リラックスできた
- ❁ 気分転換になった
- ❁ リフレッシュできた
- ❁ 子どもを安心して預けることができた
- ❁ 子どもの顔がみれないことが不安だった



今後への要望

- ❁ 赤ちゃんのためになることを企画してほしい
- ❁ 定期的に開催してほしい



考 察

子育て中の母親にとって、ひと時の心身のリラックスはその後の育児へのモチベーションの継続につながると考える。

また、参加した母親から同じ子育てをする母親たちとの交流や育児方法の支援に関するニーズがあることが明らかになった。

さらに子育て支援サロンに助産師・看護師・栄養士学生が参加することで、将来の育児支援や子どもの発達支援の担い手としての役割を学習する機会になると考えられる。また、大学の専門機能を活かした地域貢献にも繋がると考える。



今後の課題

今後は、サロンの回数を増やすとともに、母親のニーズに沿ったプログラム考案する必要がある。

また、母親の育児状況を把握するための調査方法と内容について検討していきたい。



ご清聴ありがとうございました。

子育て支援サロン アンジェ

